

製品安全データシート

1. 製品・会社情報

製品名 : タケシールAQモルタルプライマー
 会社名 : 竹林化学工業株式会社
 住所 : 大阪府東大阪市澁川町3丁目1番43号
 担当部門 : 品質管理部 (担当者 大江吉郎)
 電話番号 : 06-6721-6165
 FAX 番号 : 06-6720-7308
 整理番号 :
 作成

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物
 成分及び含有量 : ①スレン-アクリル酸エステル共重合体 5~10%
 ②イソブチルグリコール 2~4%
 ③イソプロピルアルコール 18~23%
 ④エチレングリコールモノタールイソブチルエーテル 1~3%
 化学式又は構造式 : ①
 ②
 ③
 ④
 官報公示整理番号 (化審法) : ①
 ②
 ③
 ④
 官報公示整理番号 (安衛法) : ①~④既存
 CAS No. : ①なし
 ②4439-24-1
 ③67-63-0
 ④7580-85-0

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 : 最重要危険有害性と判断すべき情報はない。
 特定の危険有害性 : 情報なし。
 分類の名称 : 危険有害性の分類基準に該当しない。
 (分類基準は日本方式)

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。
 吸入した場合 : 負傷者を空気の新鮮な場所に移動し、休息させる。
 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
 水でうがいをする。
 皮膚に付着した場合 : すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
 皮膚と接触した場合は直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。
 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。
 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
 眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
 飲み込んだ場合 : 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。

- 事故の場合または気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。
 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、MSDSを示す。
 飲み込んだ場合は、水で口内を洗う（その人の意識がある場合のみ）。
 応急措置をする者の保護：救急者は、保護具を着用する（曝露防止措置の注意事項を参照）。
 医師に対する特別注意事項：直ちに医師の診断を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又はMSDSを示す。

5. 火災時の措置

- 消火剤：泡、噴霧水、乾燥砂。
 特定の消火方法：周辺火災の場合：移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
 着火した場合：火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。
 消火を行う者の保護：火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 関係法規に準拠して作業する。
 人体に対する注意事項：作業者は、保護具（曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。
 屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。
 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
 環境に対する注意事項：漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。
 除去方法
 回収：漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。
 残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。
 廃棄：回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
 二次災害防止策：漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 関係法規に準拠して作業する。
 取扱い：容器は注意して取扱い、開ける。
 使用時には飲食しない。
 皮膚との接触を避ける。
 眼との接触を避ける。
 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。
 すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。
 技術的対策：取扱い場所の近くに、シャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。
 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。
 眼／顔面用の保護具を着用する。
 適切な保護衣および眼／顔面用の保護具を着用する。
 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
 注意事項：取扱いは換気のよい場所で行う。
 局所排気装置の設置された場所で作業する。
 安全取扱い注意事項：知見なし。
 保管
 適切な保管条件：熱から離して保管する。
 着火源から離して保管するー禁煙。
 容器を密閉して保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 取扱いについては全体換気装置または局所排気設備を設置した場所で取扱う。 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。
許容濃度	: 情報なし。
保護具	
呼吸器の保護具	: 本製品を多量に使用する場合、または密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
手の保護具	: 不浸透性手袋（ウレタン製等）。
目の保護具	: 保護眼鏡（ゴーグル型）または保護面（防災面）。
皮膚及び身体の保護具	: 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

製品として	
物理的状态	
形状	: 液体
色	: 白濁色
臭い	: 特異臭。
pH	: 7.5～8.8
物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲	: データなし。
引火点	: 21℃
密度	: 約 1 (25℃ 比重として)
溶解性	: 水と混和。
粘度	: 300mPa・s 以下 (25℃)
その他のデータ	: 0℃以下に放置すると凍結するおそれがあります。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。
反応性	: 知見なし。
危険有害な分解生成物	: 知見なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (50%致死量等含む):	イソプロピルアルコール	イソブチルグリコール	エチレングリコールモノターシャリーブチルエーテル
	吸入ラット LC50=22,500ppm/8Hr	データなし	1,947ppm 以上
	経口ラット LD50=5,840mg/kg	3,560mg/kg	800mg/kg
慢性毒性	: 蒸気は眼と気道を刺激する。高濃度の蒸気を吸入すると肝・腎機能の障害が起こりうる。		

12. 環境影響情報

製品として	
その他	: 魚毒性 ヒメダカ LC50 10,000mg/L 以上 (96H) 多量に河川、水路に流入した場合、水生環境に影響を及ぼす事がある。

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。	
残余廃棄物	: この製品は排水溝中に空けてはならない。
内部処理の場合	: 法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。 焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却

